

## 平成 29 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録案

日時：第 56 回日本臨床細胞学会（秋期大会）

2017 年 11 月 17 日（金曜日） 15:00～16:00

場所：ホテルオークラ福岡 3F メイフェア

### 【役員出席者】

出席：【会長】伊藤 仁、【副会長 2】小松 京子、三宅 真司、【幹事】平田 哲士、阿部 仁、仲村 武、原田 仁稔、河原 明彦、阿部 英二、古田 則行、南部 雅美、小川 勝成、山城 篤、遠藤 浩之、竹中 明美、今枝 義博、安達 博成、有田 茂実、石井 保吉、及川 洋恵、柿沼 廣邦、加戸 伸明、小山 芳徳、笹井 伸哉、渋谷 康雄、棚田 諭、土田 秀、田路 英作、野崎 正行、畠 榮、服部 学、羽原 利幸、深澤 政勝、藤井 和晃、松本 慎二、丸川 活司、三浦 弘守、山本 秀巨、横山 俊朗、【監事】上野 喜三郎、片岡 秀夫

会の成立：役員 47 名中 41 名出席、委任状提出 6 名、仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：役員会運営に関する細則第 6 条により、平田総務委員長が選任された

議事録作成：庶務委員会（井上、石堂）

議事録署名人：伊藤会長，上野監事

### 伊藤会長挨拶

最初の役員会で事前に議案書配布がされている。1 時間の会議を速やかに進めて頂きたい。

### 議長 平田総務委員長

議案提出の際、これまで議案書の作成に当たって議題を委員長以外からの提出はなかった。今後、メーリングリストから提案していただき会長承認後、役員会議案として進める。議題があればいつでも提案していただきたい。議案は役員会の議決の必要な事項を指すもので、そのほかは確認、検討事項として取り扱う。

### 1. 第 1 回議事録の確認と報告事項

1) 物故会員：仲村庶務委員長が氏名を朗読し，出席者全員で黙祷を捧げた。

平田 守男様 (CT0001)

比嘉 美香様 (CT8200)

2) IV 報告事項の記載のように報告があった。

#### 渉外委員会

仲村庶務委員長：2 ページ 5) 細胞検査士パンフレットの配布 7 施設に郵送したとはどのような施設に配布したのか？

河原渉外委員長：基本的には大学関係に配布した。50 周年事業に関することが入っており、九州、中四国、大阪、神奈川の臨床検査技師学科がある大学に配布をした。

#### 編集委員会

阿部編集委員長：50 周年事業の特集を組むため 1 月発行に変更する。

石井幹事：何部発行するのか後ほど教えてください。

#### 学術委員会・国際委員会

伊藤会長：2018 年 2 月 24, 25 日第 1 回第 2 回細胞検査士ワークショップと日・台・韓細胞検査士合同セミナーの日程が重なっている事をお詫びすると共に主催者として担当委員会は重複しないよう配慮するようお願いいたします。

#### あり方委員会

平田総務委員長：内容が精度保証委員会と重複しているところがあるので協力して進めてください。

#### がん検診委員会

今枝がん検診委員長：細胞検査士展で配布するリーフレットとポスターを完成させた。

山本幹事：がん検診委員会は名前が変わっただけが事業報告ですか？

今枝がん検診委員会：がん検診に関する啓発活動準備を行った。今後、メンバーの確定と予算を申請し進めていく。

#### 50 周年記念事業委員会

The medical & Test Journal (株式会社じほう出版) という臨床検査の機関誌に、50 周年記念の特集企画を掲載した。400 部程度を、無料で 19 日の記念式典会場入口で配布予定。皆さんも手に取って内容を読んで頂きたい。

## 2. 議案なし

## 3. 確認・検討事項

精度保証委員会活動について

- 1) 教育セミナーセルフアセスメントのスライド貸し出しは中止.
- 2) 今年度のスライドは情報委員会に提供し、今年中に UP 予定

- 3) 標本作成法について役員対象にアンケートを実施予定
- 4) 細胞診ワークショップについて来年は4, 5月に弘前で実施予定
- 5) 生涯教育計画：有資格者対象・100例鏡見・神戸大学で検討中

小松副会長：症例の提供の際、同意を取得していても他施設において「〇〇病院 〇〇〇〇提供」と表記されもし報酬を得た場合、問題になる。症例提示の際、1症例では問題にはならないが複数症例を提示するとなると倫理委員会の申請が必要になっています。ホームページで出す際には各施設で十分にご検討いただくようお願いします。

病理学会が発展途上国用に作成した症例スライドがゲームソフト会社に勝手にダウンロードされゲームソフトとして販売し、裁判になった事案があった。勝手にダウンロードできないような工夫を加工することは可能でしょうか？

小川情報委員長：透かしを入れるなどの検討は情報委員会でも行ったが現時点では難しい。

平田総務委員長：精度保証はこれまで資格のない方を対象に行ってきたがこれからは有資格者の初心者に対しても行っていきたいとのこと。学術委員会は重なる所はあるのではないかと？

古田学術委員長：若干、重なりとところがあると思う。

竹中精度保証委員長：学術的ではなく養成ワークショップで使用した教材ですので広く浅くの意味合いです。

平田総務委員長：すみわけをしっかりと行っていただきたい。

伊藤会長：無資格者だけで埋まってしまう様ではプラス資格者では大変ではないですか。

竹中精度保証委員長：まずは有資格者を優先しています。定員に達しなければとるようにしています。以前、養成ワークショップでは定員割れが発生したときは有資格者の参加を認めていました。

伊藤会長：今年は二次試験受験者が非常に多く 580 人が受験します。そのため朝昼晩と 3クール 2 日間行います。受験者が増えたのか去年からの影響かなのですが増加しているのは確かです。仕事量の兼ね合いから学術と精度保証を分けて初級コースを作るのはいかがでしょうか？

竹中精度保証委員長：このようなワークショップをする目的は教材作成に大変な労力を費やしています。2回で終了するのではなく、もう少し開催したいとの思いもあります。学術的に行うものではありません。

古田学術委員長：学術委員会は細胞検査士が対象です。問題視していません。

山本幹事：資格を持っていない人に対象ということは非会員ですね。検査士会の事業を非会員に対して行うことになりますね。公益事業として行うことですか？

平田総務委員長：公益事業として行います。子宮の日とかと同じです。

山本幹事：費用はどこから捻出するのですか？

竹中精度保証委員長：参加費を徴収しています。赤字ではないです。

伊藤会長：細胞検査士を養成することは我々の責務でもありますので積極的に行うべきと考えています。

その他

50周年事業について

南部国際委員長：一般市民向けの細胞検査士展示会を行います。パネル7枚を用い行います。また口腔粘膜を擦過していただき迅速染色しその場で観察していただくコーナーを設けます。子宮がん検診など「痛い」など侵襲性の少ない検査である事を知っていただくことを目的としています。細胞検査士ががんを見つけるプロフェッショナルである事を知っていただくためのがんの写真とバーチャルスライドを用意し一般の方にも実際に探していただくものを考えています。細胞検査士リーフレット、がん検診委員会リーフレット、細胞検査士会の名前の入ったポケットティッシュを配布する予定。日曜日に市民公開講座のパンフレットも配布します。

古田学術委員長：19日曜日に市民公開講座は学会と本会と共同開催で進めてきました。パンフレットにあるように女性特有のがんをテーマに行います。会場が少し離れたサンパレスで開催されますので、参加人数が見込めない可能性があります。お時間のある方は参加いただきますようお願いいたします。

三宅50周年記念事業実行委員長：市民公開講座と細胞検査士要望教育シンポジウムの開催時間が重なっていますので、ご配慮いただきますようお願いいたします。

阿部編集委員長：式典、祝賀会について式次第、来賓紹介が行われた。

祝辞：自見はなこ 参議院議員，宮島喜文 参議院議員，福岡県保険医療介護部長 大森徹様，日本臨床細胞学会理事 長青木先生，国際細胞学会理事長 長村先生

来賓紹介：日本病理学会副理事長 安井先生，本学会学術集会会長 加来先生，細胞学会前理事長 佐々木先生，専門医会前会長 土屋先生

功労賞表彰：全国84名

祝賀会：福岡サンパレスで開催

その他

藤井幹事：議案と確認検討事項は別であり、メールでということですが、議案はメーリングリストで全員に送るのでしょうか？伊藤会長のみを送るのでしょうか？確認検討事項についても議案との違いは議決が必要か否かですがその区別はどのように考えたらよいのか？その提案方法、提出期限を具体的に教えていただきたい。

平田総務委員長：各委員会から出る議案が第一であります。各幹事個人から出る議案に關しましてメーリングリストにてご提案いただきたい。委員会関係は各委員会からご提出く

ださい。施行細則にあるように規則で決まっていることに関して総会で承認が必要な事.  
役員会の細則など役員会で承認が必要な事は議案とし、規則で決まっていないそれ以外は  
確認検討事項になります。